

議 事 概 要

会議名	第15回 海津市地域公共交通会議
日時	平成30年5月29日（火）14：30～16：45
場所	海津市役所東館 4階 災害対策本部室
出席者	委員17名 オブザーバー2名 事務局4名 ランドブレイン(株)2名
議題等	議題1 平成29年度決算についての説明 議題2 平成30年度予算（案）についての説明 議題3 報告 海津市コミュニティバス利用状況についての説明 議題4 海津市コミュニティバス見直し（案）について 議題5 平成31年度生活交通確保維持改善計画（案）についての説明 その他

協議・報告事項

【議題1】平成29年度決算について

○事務局から説明（資料1に基づき説明）

- ・平成29年度決算について

○監事から監査報告

○委員からの質問・回答、意見等

- ・質疑等なし

○原案のとおり承認。

【議題2】平成30年度予算（案）について

○事務局から説明（資料2に基づき説明）

- ・平成30年度予算（案）について

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答）

・看板作成は、松山駅の看板ですね。また、美濃松山に駐車場を整備していただける件で、（駐車場の土地は）近鉄から貸与されているはずですが、それは海津市あるいは、管理機構のどこに貸与されているのですか。

→近鉄から管理機構に貸与され、海津市は利用目的を持って管理機構と協定を結び管理しています。

・予算を決めることは大事なことです。この会議は、養老鉄道を含めた海津市の公共交通をどうするかを議論する場です。そのための事業予算とした場合、まず、今年どんなことをするのかをきちんと説明していただく必要があるのではないですか。

→事務局から説明（資料2参考に基づき説明）

・今年の予定の中に、コミュニティバスの利用者調査とありますが、資料を拝見すると利用者だけの調査です。利用されていない方のアンケート調査はないのですか。利用者はコミュニティバスのことをよく知っていますが、そうした人だけの意見を聞いても利用増加には繋がらないと思われます。「使っていない」「使われていない」理由を聞いた方がいい

と思います。利用していない人のアンケート調査はないのですか。

→具体性という面では実施したいのは事実ですが、検討させてください。

・デマンドバスについて、使い勝手などの説明がほしいという要望があるので、そうした予定も入れてください。また、駒野駅のパーク＆ライドの駐車場看板は見えるのですが、入口がわかりにくい。他所から来られる方のために、駒野駅への経路がわかりやすい看板があるといいと思います。

→確認しながら進めさせていただきます。

○原案のとおり承認。

【議題3】海津市コミュニティバス利用状況及び利用者調査について（報告）

○事務局から説明（資料3－1及び資料3－2に基づき説明）

- ・海津市コミュニティバスの利用状況について
- ・海津市コミュニティバスの利用者調査について

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答）

・報告を見て利用者の減少がひどい。今、西濃の他地区はバス利用者が増えている。アンケートが高校生にかたよっているので参考にならないと思います。デマンドバスとコミュニティバス利用者というポイントだけのアンケートではなく、国の補助金を活用している点から考えて、養老鉄道や（他の）定時定路線バス、デマンドバスとコミュニティバスなど、海津市全体のネットワークが見えません。もう少し問題点を把握して整理したものを見せてもらわないと、改善点を示されても意見できない。もっと海津市のネットワークが皆さんに活用していただけることを期待します。

・高校生に特化したのはわかりますが、海津市の公共交通であれば、調査の中に名阪近鉄の資料を入れておくべき。また、名阪近鉄の今尾とコミュニティバスとの連続性が全くなないのでなんとかしていただきたい。

高校生の利用が多いということであれば、高校にお願いすれば特化したアンケートや高校生からも使い方のアイディアは出てくる。調査情報の取り方が中途半端になっている。進路を考えている中学生にもわかりやすい資料になる。

→高校生のアンケートについては、高校へ出向き利用者対象にアンケートを実施した。

調査方法については今後の検討とさせていただきます。

・デマンドバスのアンケートで、利用者年齢が60歳以上より、50歳以下が半数を超えているのは、通常のデマンドバスの使われ方ではない。高齢者が病院へ行くためにデマンドバスが運行しているはず。そのあたりの見解はいかがですか。

→調査数値の踏み込んだ分析は、ここでお答えできない状況なのでまた後ほど分析等進めていきたいと思います。

・病院等の施設へ通いにくい理由は、デマンドバスやコミュニティバスの停留所まで行かなければならない。こうした意見は、どのように吸い上げたら市で考えていただけるのか。また、こうした便宜はどのように考えておられますか。

→デマンドバスの停留所は、皆さまの便利のよい場所を考えて設置していますのでご理

解いただきたいと思います。

・手をあげるとそこで乗降できる市町村もあったようです。もう少し病人が暮らしやすい便宜を考えていただけるとありがたいと思います。

→バスの運行の考え方と福祉の考え方がありむずかしいところです。

・通勤に使われる人がデマンドバスを予約で押さえ、他の予約は残りの台数で回さなければならないことは今後の課題だと思います。7ページの本人の都合でキャンセルになることが大変多いようですが、内容も知りたいし、これだけキャンセルされた場合、空きが出ることにになり、キャンセル後バスをどのように回しているのか疑問に思います。

→デマンドバスの運行に関しましては、デマンドバスのオペレーターがキーとなり、予約を賜りまして、調整の上運行している状況です。

・市内の各地区で生の声・意見を聞く場が設けられていませんが、行く意思がないのか、実施したけれどここには載せていないだけなのかどちらですか。今後もアンケートだけで、市なり担当職員が各地区に行って説明会や意見を聞く予定はあるのですか。

→デマンドバスとコミュニティバスの運行は平成27年度下期から始まり、10年という大きなスパンで考えております。現状を把握するという意味あいにおいては、毎年 はむずかしいですが、運行の契約の更新時期や、利用者だけではなく、全体の意見の 吸い上げも一定期間で行っていきたいと考えております。時期についてはまた確認し ていきたいと思います。

・資料5〈参考〉「地域内フィーダー系統事後評価要約版（29年度）」二次評価の中に、高校生の利用について述べられています。数字の羅列ではなく、原因を突き止めて公共交通の維持・改善という目的もあるので、会議の場に投げてくださいと思います。もう1点、資料9ページ自由意見の中に「運転手の態度が悪い」「運転がこわい」「運転が荒い」「車内がきたない」「バスが先に行ってしまう」などは運送の根本的な問題に関わる場所です。自治体はあくまでも運行主体ではありませんが、運行事業者と話し合っ てこうした声をなくす努力、改善していただきたい。昨年コミュニティバスで小さな事故が多発したため、安全性について公安委員会から私どもに通知が来しているところ です。少ない意見の中でこれだけ上がっているところをもう少し問題視していただき、運行の改善につなげていただきたいと思います。

→（運行事業者）皆様の厳しいご意見を賜り、状況を踏まえて指導強化しておりますが、まだまだ不足する点が多々あるのが現状で、引き続き運転手の質の向上をめざしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

・全体には利用率が下がっており、要因は高校生ということですが、高齢者の利用の増減は毎年どうなっていますか。現在、高齢者の事故が大きな問題となっており、その対策として公共交通の充実が考えられます。高齢者が利用しやすい状況になってきているのか、私どもとしては一番関心があるところです。累計数字は出ていますが、年毎ではどうですか。

→コミュニティバスは、運転手がカウントする停留所ごとの乗降人数だけなので、年齢のデータがありません。データを取ることは実質不可能に思います。デマンドバスは、登録があるので年齢データは可能です。デマンドバスについて累計と期間別は出せるのですが、カウントの取り方でデータ不足となり年毎の数値は出ない状況です。

【議題４】海津市コミュニティバス見直し（案）について

○事務局から説明（資料４に基づき説明）

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答）

・地図が小さく見にくいのですが、新規定時定路線（駒野へ行くバス）は、材木店のところを西に曲がり、途中でガードの手前を右に曲がるルートになるのですね。

→そのとおりです。

・乗継運賃がわかりにくいのはわかりますが、アンケートでは知らない人も多いので広報不足ということではありませんか。利用者が少ないから中止というのは、端的に言って疑問があります。

一方で、改善案としての一日乗車券を入れる話、今回提案の６００円という件について、岐阜羽島⇄海津往復６００円より安くしないといけないという理由だと思います。しかし、実際乗継ぎされるのは、外来者でお千代保稲荷へ行くというよりは、乗継ぎせざるを得ない場所を移動する方に対するサービス拡充だと思います。恐らくそうした方は高齢者が多いのではないかと。であれば（６００円の）１日乗車券の恩恵は全くないのではありませんか。

乗継券をなくすということは、デマンドバスからコミュニティバスへの乗継ぎの前提をなくすことになります。もともと路線再編の考え方として、海津市はエリアが大きく効率が悪いので、デマンドバスと定時定路線バスをオーバーラップさせる目的があり、すみ分ける議論がありました。少なくともコミュニティバスのある所は、乗継ぎを前提にできるだけ定時定路線バスに乗りいただくという考え方です。結果としての現実には、あまり効率的ではない足の長いデマンドバスの利用が特徴かと思います。

そうした前提において、デマンドバスとコミュニティバスを完全に切り離してしまうことは、当初のデザインを変えること、大きな変更になります。乗継券が使われないから、１日乗車券にします、値段は６００円でわかりやすい、ということは本当に市民にとって便利になりますか。もう少しちゃんと皆さんの意見を聞きながら議論した方がいいと思います。

→デマンドバスに乗った後、乗継券をもらう乗継乗車券は制度的に欠点があります。

乗継券をもらった後、本当なら定時定路線に乗ってもらうことが主旨だと思います。例えば、定時定路線の終点へデマンドバスで行って、乗継券を戻り分として乗ることができ、往復で乗継ぎが可能です。また、１日乗車券は定時定路線のみの乗継ぎになります。岐阜羽島からお千代保稲荷へ往復乗車する方に、海津温泉へ寄っていただいても２００円の定時定路線バス代を値引きすることを目的にしています。乗継券をなくすことは、デマンドバスと定時定路線を分断する意図ではありません。

デマンドバス利用者がパスポートを持っている場合や通学定期券利用者に、乗継券は発行されず、乗継券は現金の方が対象になっているので、そこはすでに住み分けていると思います。

・口頭で説明されている内容がかなり多く、問題点は今話してもらわないとわかりませんでした。現状の課題、原因、それに対する見直しや変更を整理して、目に見えるようにしていただけないでしょうか。前段のアンケートのところから、見直し案に繋がっていると

思えませんでした。何が課題かわからないといけないと思います。

→デマンドバスとコミュニティバスの乗継ぎで目的地まで行くためには、デマンドバス→コミュニティバス→デマンドバスの乗継ぎということもあり、結局ダイレクトで目的地に行けるデマンドバスのみ利用する方ばかりです。乗継券の利用者が少ないのもそこが原因かと思います。利用者が少ない現状で、乗継ぎを説明しづらいこともあり、わかりやすくした方が利用に繋がると思いました。定時定路線とデマンドバスの乗継利用者を統一すれば、デマンドバスとコミュニティバスの乗継ぎ300円も一緒にカバーできると思い、セットであげさせていただきました。

・コーディネイトがされてないので、全てブツ切りになっています。デマンドバスは広域だから定時定路線とかぶり乗継ぎはないということですが、これは地域内フィーダー系統に確保維持計画に発展しなければいけない話です。養老鉄道も含めた形でコミュニティバスとデマンドバスをどうするか、協議事項で決定ありきではなく、もっとこの場で協議を重ねる必要がありませんか。

また、デマンドバスには何故、運転免許自主返納者割引がないのですか。

ご検討の程よろしく願いいたします。

→今の件に関しましては、検討させていただきます。

デマンドバスは、すでに運転免許自主返納者は半額になっております。定時定路線では、今まで割引がなかったため統一する意味で、今回市内の65歳以上の高齢者身分証明証の方は半額とさせていただきました。

○協議事項①以外は原案のとおり承認。

【議題5】平成31年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○事務局から説明（資料5に基づき説明）

・平成31年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答）

・1点目、今後運輸支局に6月中に補助金申請を出すタイミングがありますが、フィーダー系統担当者から表記・表現の指示がありますので、このまま申請書が行くのではなく修正が入ることをご了承ください。例えば1. 地域公共交通確保維持に係る目的・必要性、に関して言えば、状況説明はいいですがあくまで目的・必要性を訴えていただきたい。フィーダー系統の補助なので、幹線系統とのつながりなどの状況の説明を訂正していただく可能性があります。

2点目、事業の目標に関しても、単年度の補助金なので、昨年度の目標結果は省いていただいてもいいと思います。

以上の点を事務局の皆さんと運輸支局の担当者で相談して調整していただきます。

内容に関してまで踏み込んでおりましたが、あくまで形式的なものとして調整していただければと思います。本日議論していただく点は、表記自体はまた修正があるかもしれないことを前提にいただきたい。

○原案のとおり承認

【その他】タクシーで巡る海津市周遊ツアープランパンフレットについて（報告）

○事務局から説明（その他資料に基づき説明）

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答）

・最初タクシーで行くのかと思ったのですが、時刻表があるということは、帰りはバスですか。とてもわかりにくいです。これを見てどう動いていいのかわかりません。もう少しわかりやすいといいと思います。

→この運行につきましては、タクシー会社と予約していただき、裏面のコミュニティバスの時刻も参考にさせていただくということです。わかりにくいということなので、また商工観光課に確認いたします。

・時間と3時間コースなどありますが、行先がほとんど似たような場所です。もう少し目玉的な場所を入れるなり、違いを作った方がいいと思います。桜ロードなどもありましたね。

→チラシに関しては、「秋」に特化しております。（コースの主旨は海津市）全部を見ていただきたいということです。

・これと併せて1日600円の1日券（使い放題）もセットするといいのではないですか。

→参考にさせていただきますが、今回はタクシーということですのでご理解いただければと思います。これはデマンドではなくあくまでタクシー会社の自主運行ということです。

閉会